



2024年夏季ベーリング海 さけます資源生態調査の結果報告

水産研究・教育機構 水産資源研究所
さけます部門 資源生態部
本多 健太郎

ベーリング海は、

140°E

160°E

180°

160°W

140°W

日本系サケの回遊ルート

60°N

オホーツク海

1年目
夏

成熟

1年目
冬

北西太平洋

ベーリング海
2年目以降
夏

アラスカ湾

2年目以降
冬

母川へ

50°N

40°N



日本系サケの2年目以降の索餌回遊域

モニタリング17定点

- ✓ 表層トロール 1 時間曳
- ✓ CTD、動物プランクトン採集
- ✓ アーカイバルタグ・標識放流

GH21
GH20
GH19
GH18
GH17
GH16
GH15
GH07
GH08
GH09
GH10
GH11
GH12
GH22
GH23
GH24
GH25

資源状態と生物学的特性を明らかにするために

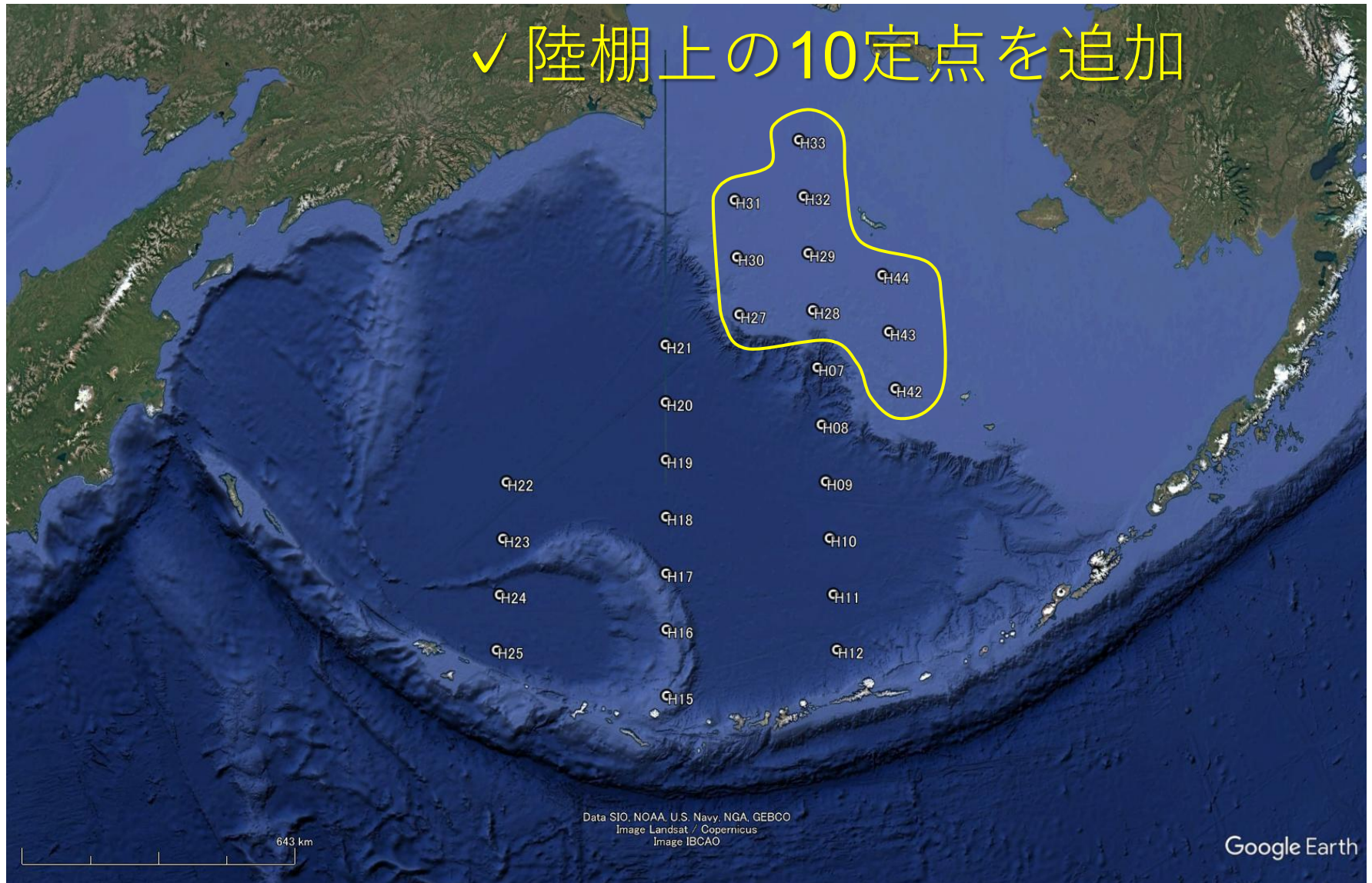
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Image Landsat / Copernicus
Image IBCAO

594 km

Google Earth

2024年は外航調査

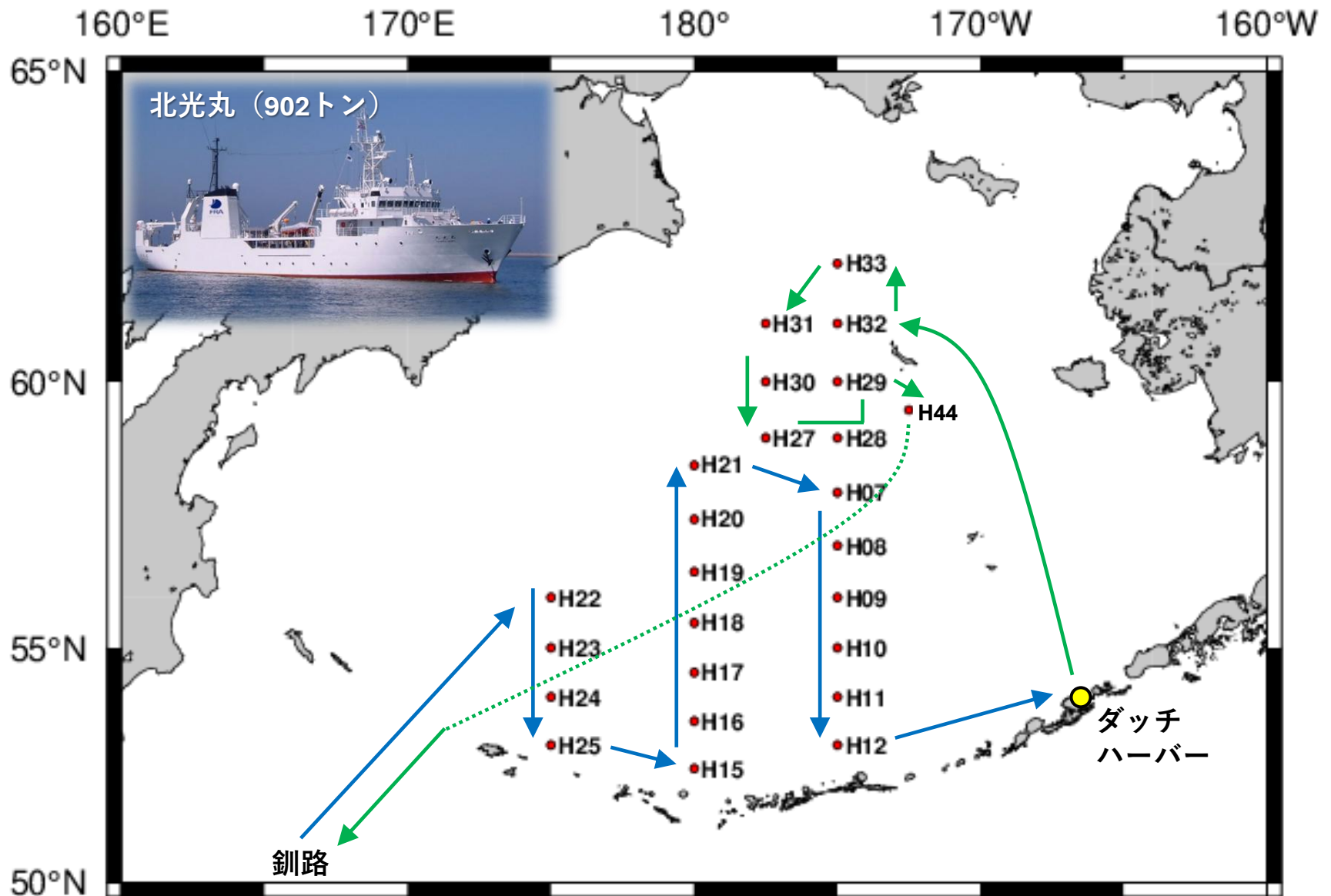
✓ 陸棚上の10定点を追加



2024年外航調査の目的

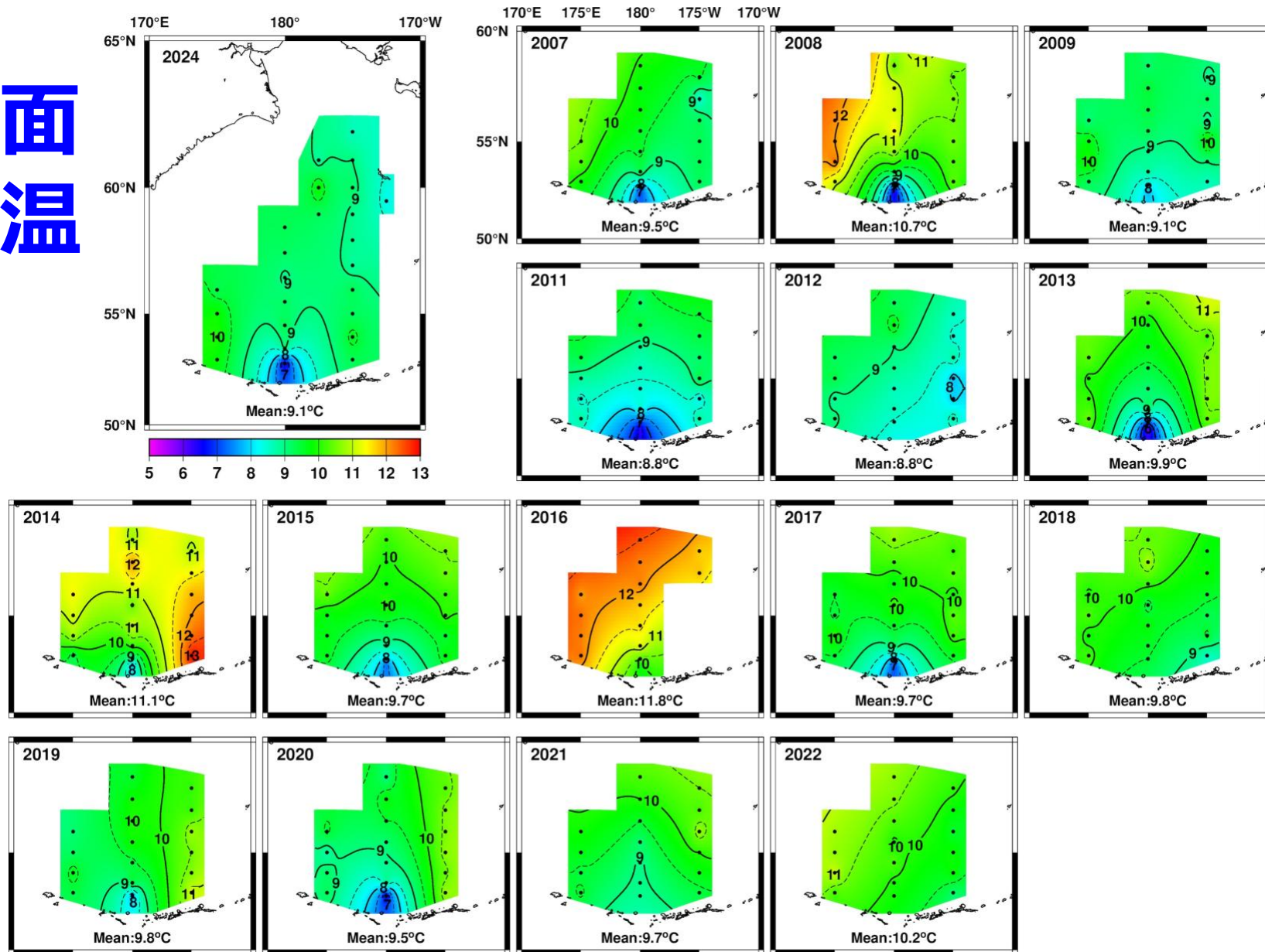
- ① 17定点のモニタリング
- ② 陸棚上の日本系サケの資源状態の把握
- ③ 同一定点での曳き比べ試験の実施

航海ルート・スケジュール



レグ1: 7/17釧路発→8/6ダッチ着、レグ2: 8/9ダッチ発→8/26釧路着

表面 水温



✓ 17定点の平均9.1°C（過去平均9.9°C）とやや低め

① 17定点のモニタリング



サケ (シロ)



ベニザケ (ベニ)



カラフトマス (マス)



ギンザケ (ギン)



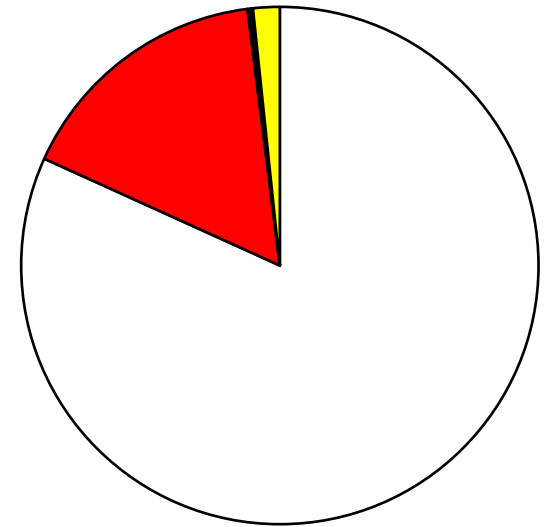
マスノスケ (スケ)

主なサケ属5種

各種の総漁獲尾数

2024
(2007–2022範囲*)

○ シロ	2414 (1504–3308)
● ベニ	479 (160–1571)
● マス	6 (1–55)
● ギン	4 (0–9)
● スケ	49 (32–136)

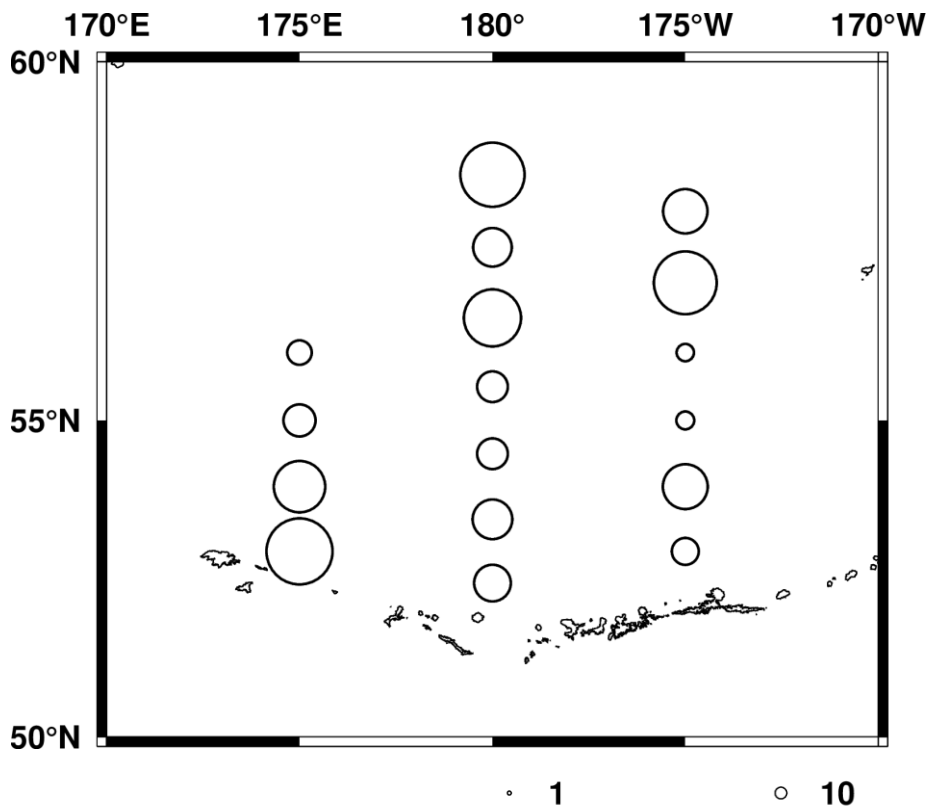


*2010&2023は調査無し、2016は13定点

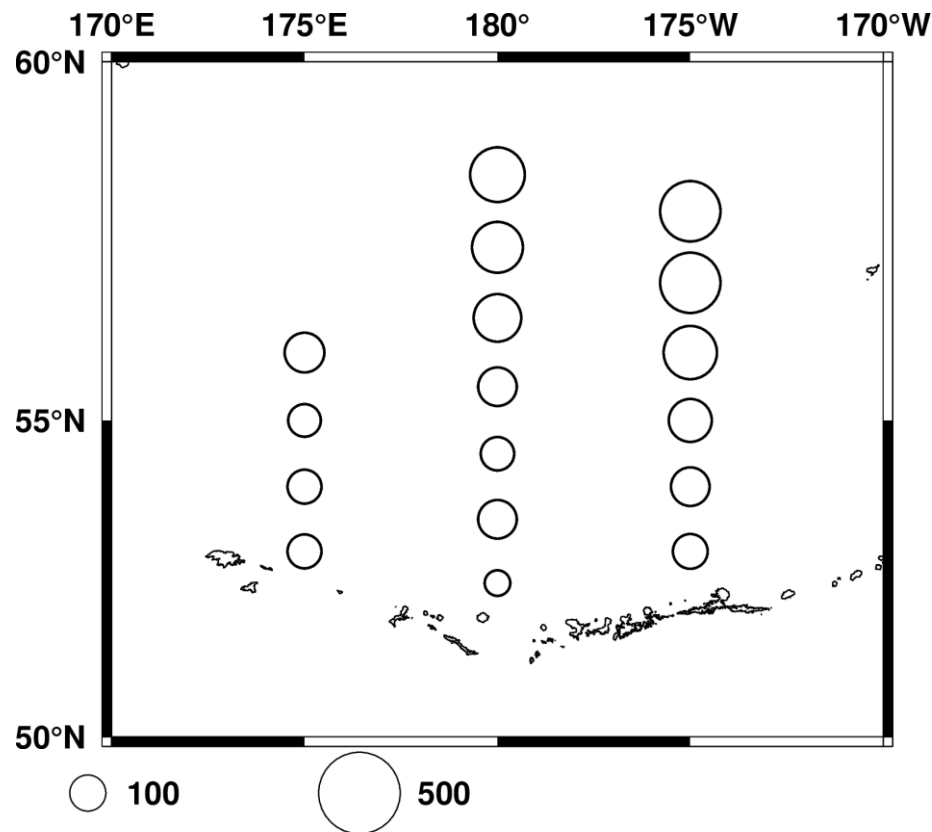
✓ 例年通りシロが全体の約8割を占め、
ベニ（16.4%）、スケ（1.7%）と続く

シロの曳網一時間あたりの漁獲尾数 (CPUE)

2024



2007-2022平均

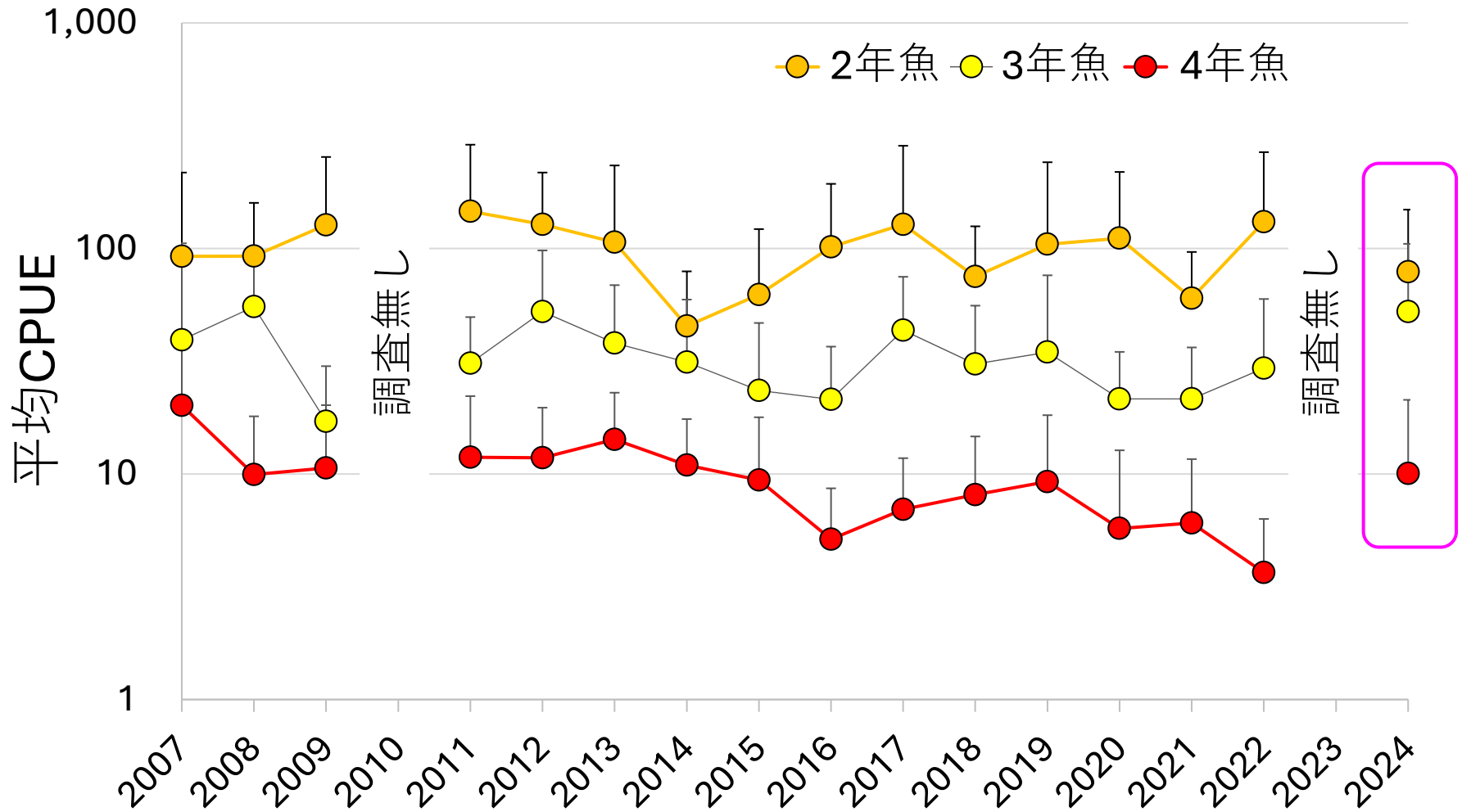


✓ 平均CPUE (142尾) は平年比99.7%

✓ 例年と比べていびつな分布

シロの年齢別CPUE

※バーはSD

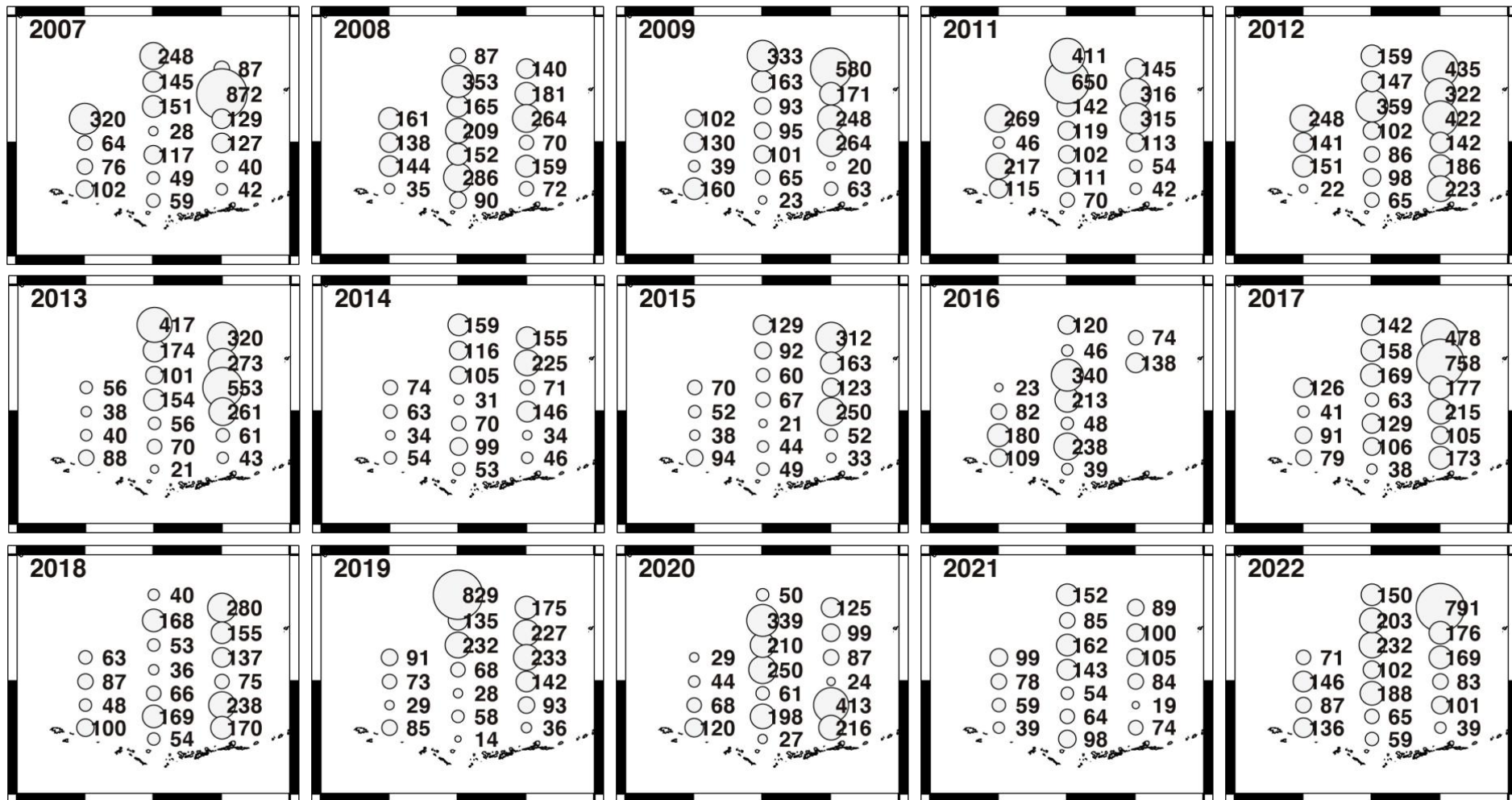


✓ 2024は2年魚は平年比78%、3年魚は160%

2024年外航調査の目的

- ① 17定点のモニタリング
- ② 陸棚上の日本系サケの資源状態の把握
- ③ 同一定点での曳き比べ試験の実施

シロの各定点のCPUE



✓ 各定点は緯度・経度方向に>100km、>300km離れている

✓ 分布がパッチ状になる年もあり、>700尾は何回曳いても同じ？

まとめ

- CPUEはシロ・ベニとも平年並み
- シロは2年魚が少なく、3年魚が多かった
- 北東海域でシロは多くなかった
- ただし、日本系割合は2009年同様高かった
- 曳き比べ試験で10倍以上の開き
- しかし、従来調査でシロの資源状態を大雑把に把握

ご清聴ありがとうございました



@Dutch Harbor

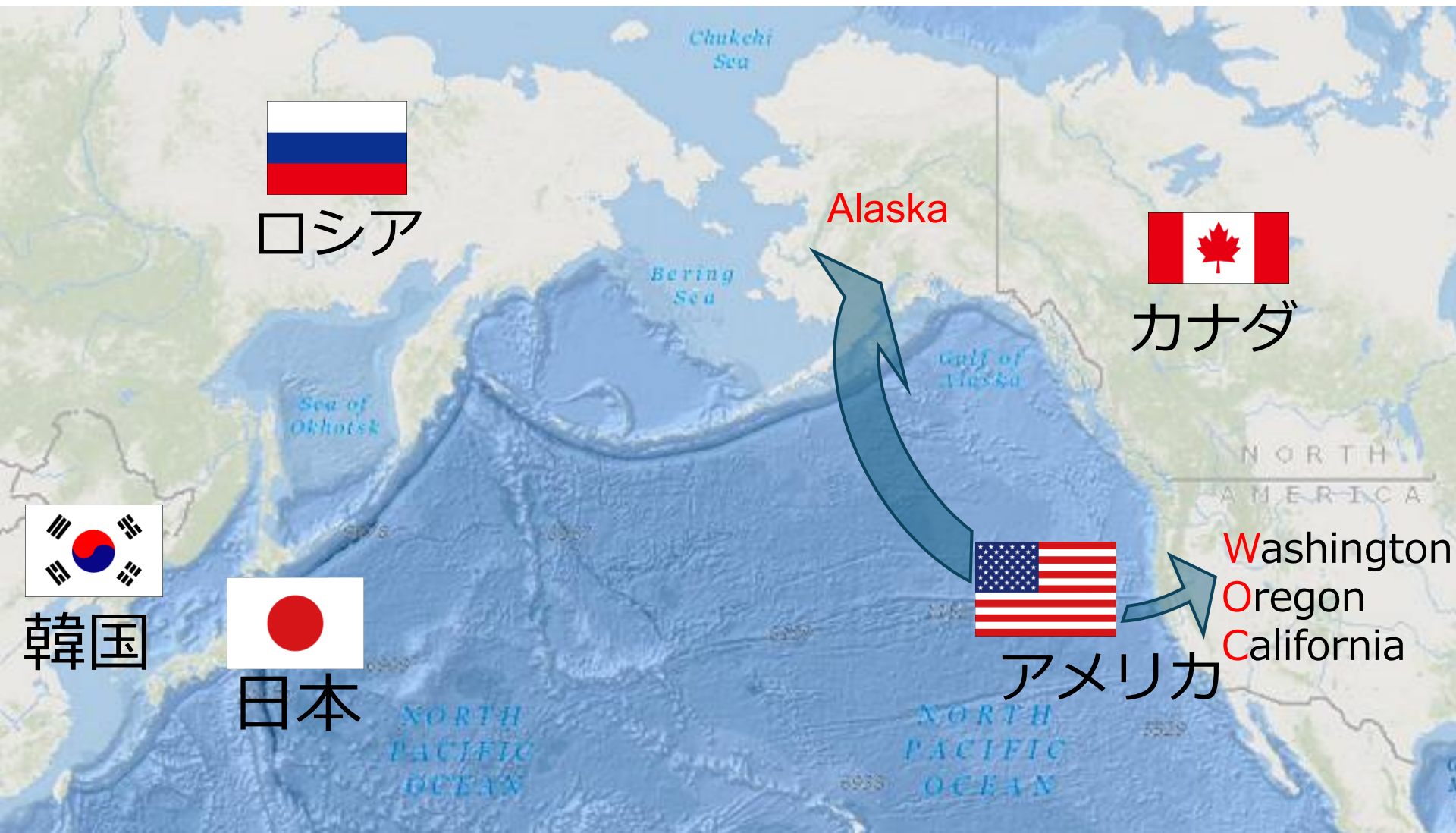
＜参考資料＞

北太平洋におけるさけ・ます資源状況

North Pacific Anadromous Fish Commission (NPAFC)

北太平洋溯河性魚類委員会

(北太平洋における溯河性魚類の系群の保存のための条約 加盟5カ国)



北太平洋におけるサケ・マス類の商業漁獲量の推移 1925年～2024年(万トン)

■ カラフトマス ■ サケ ■ ベニザケ
■ ギンザケ ■ マスノスケ ■ サクラマス
■ スチールヘッド

2024年
52.8万トン
1979年以降最少

ベニザケ



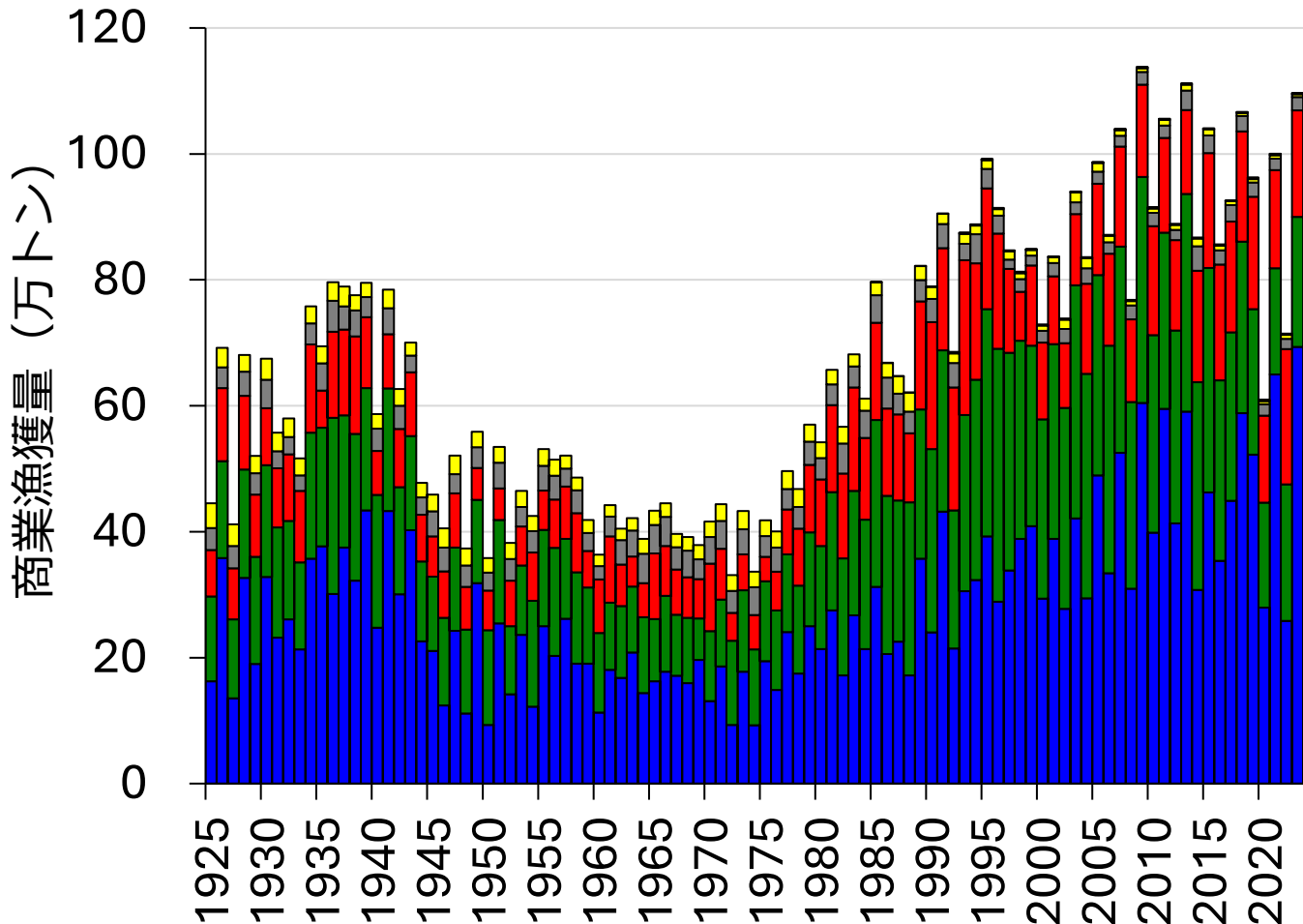
サケ



カラフトマス



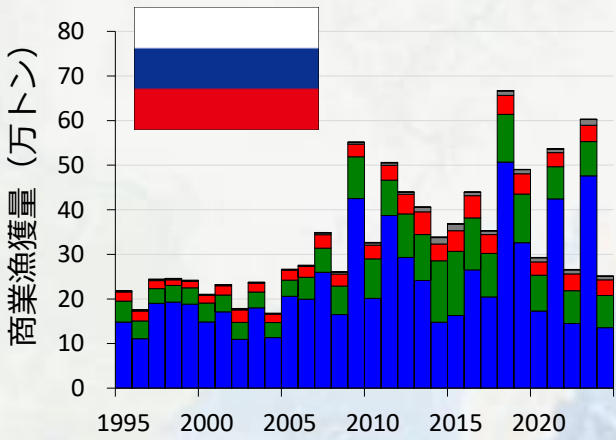
NPAFC Catch Statistics



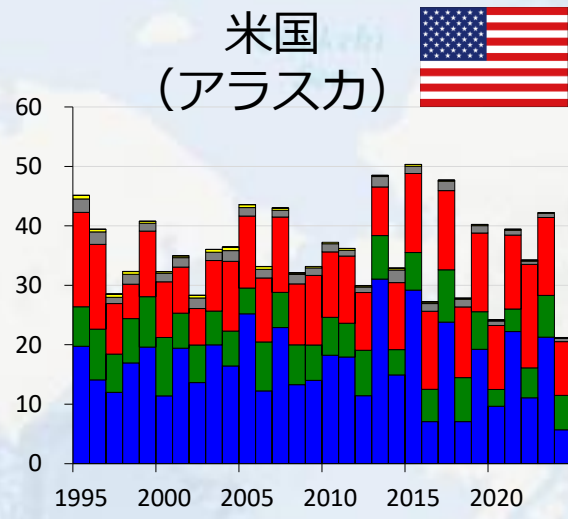
国・地域別のサケ・マス類漁獲量の推移 (1995年～2024年)

- カラフトマス
- ベニザケ
- マスノスケ
- スチールヘッド
- サケ
- ギンザケ
- サクラマス

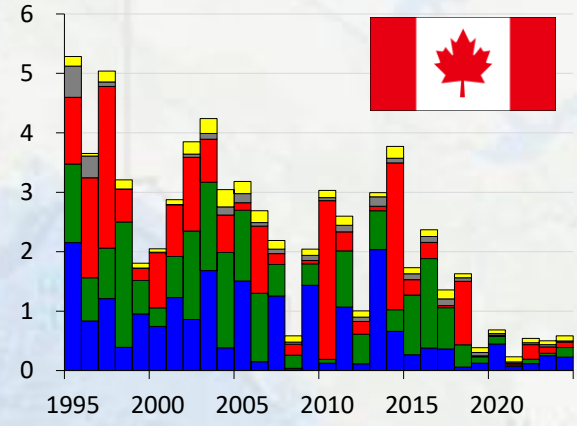
ロシア



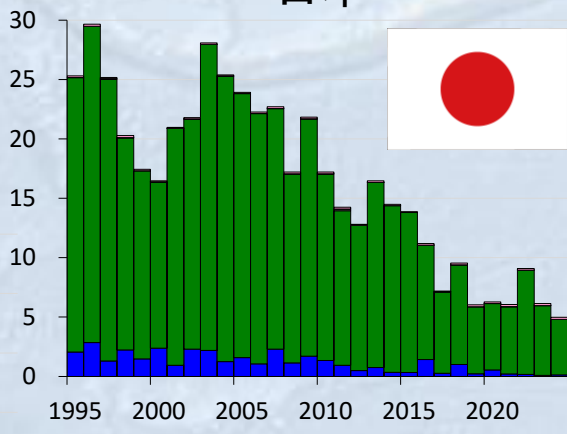
米国
(アラスカ)



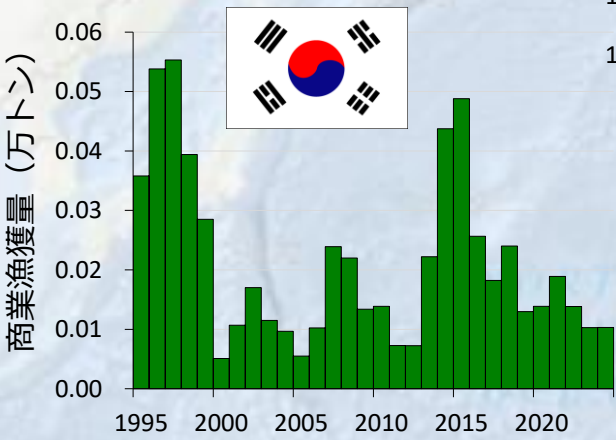
カナダ



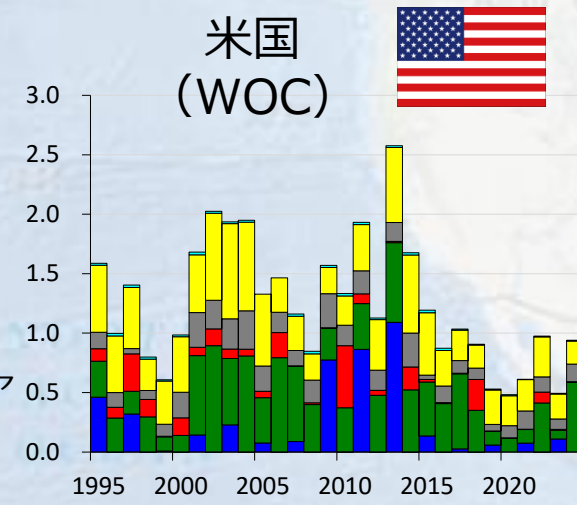
日本



韓国



米国
(WOC)



WOC :
ワシントン・オレゴン・カリフォルニア

NPAFC Catch Statistics
(2024年データは速報値)

サケ地域別漁獲量の推移



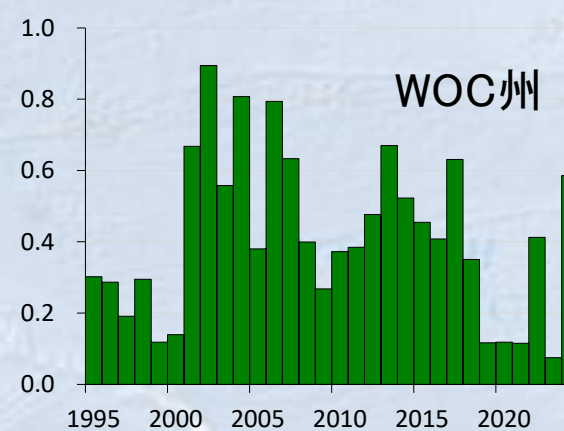
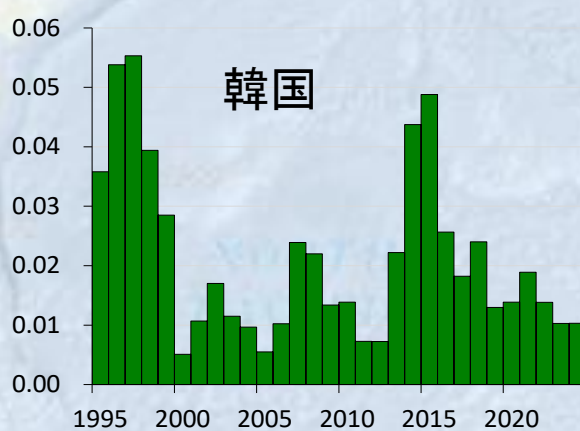
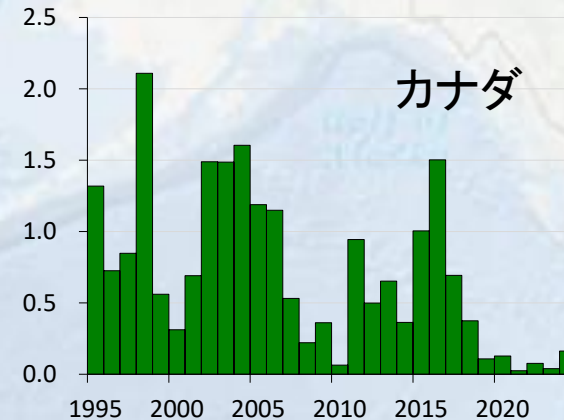
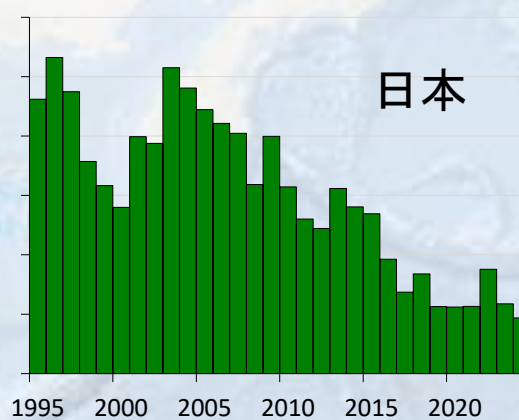
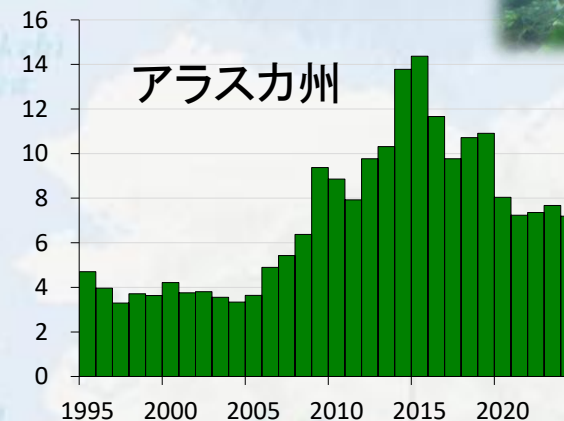
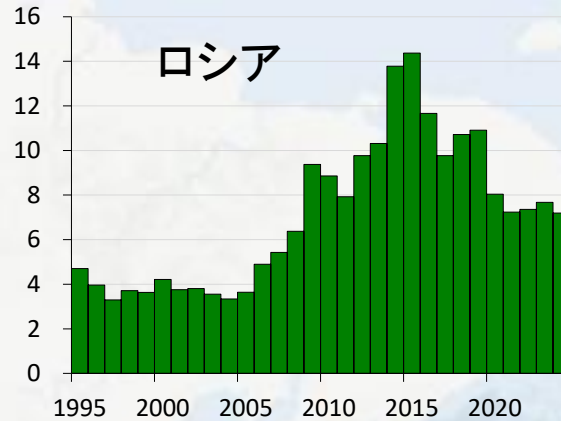
NPAFC Catch Statistics
(2024年データは速報値)

北



南

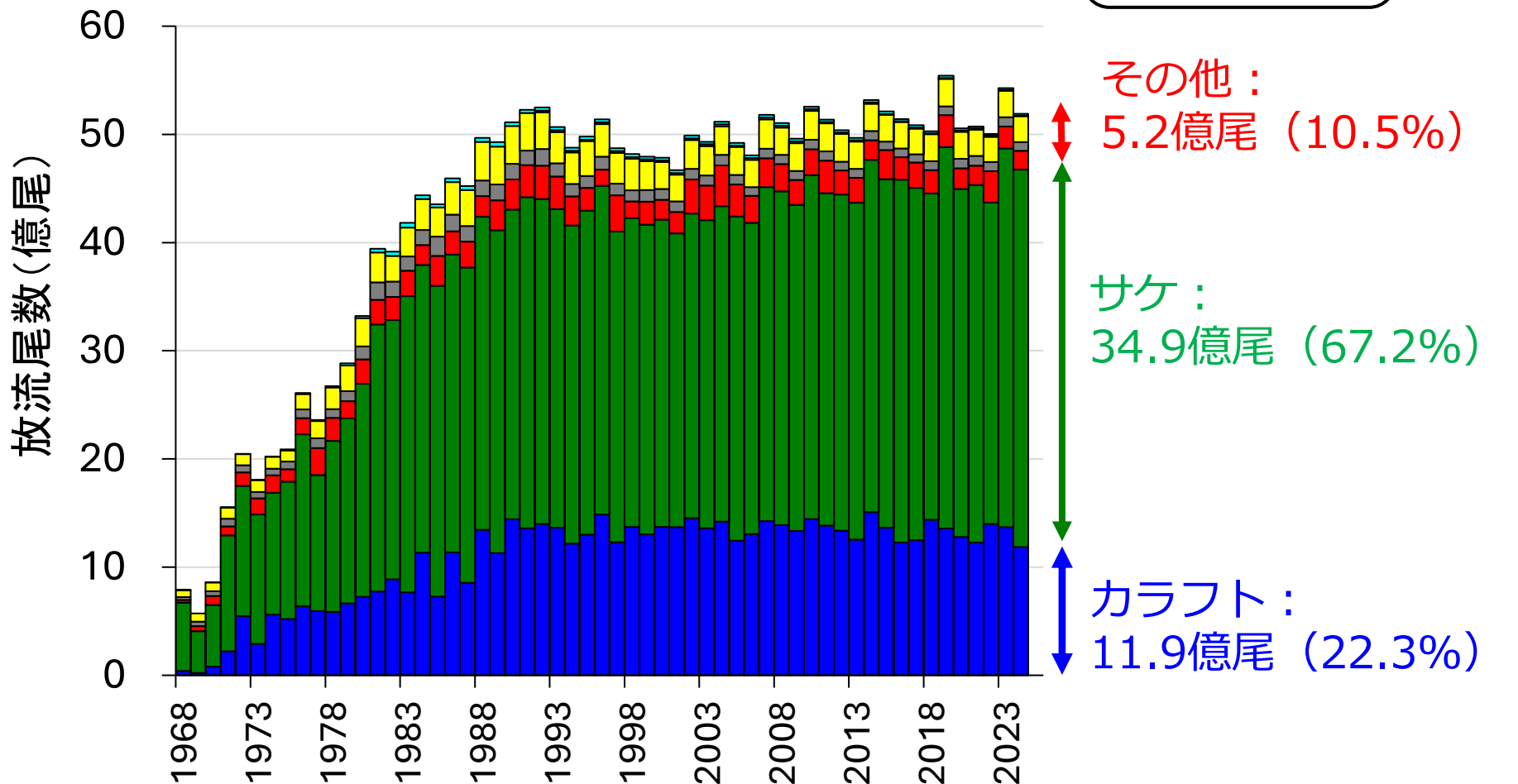
商業漁獲量(万トン)



北太平洋におけるさけ・ます類の放流数 (1968年～2024年)

■ カラフトマス ■ サケ ■ ベニザケ
■ ギンザケ ■ マスノスケ ■ サクラマス
■ スチールヘッド

2024年
51.9億尾

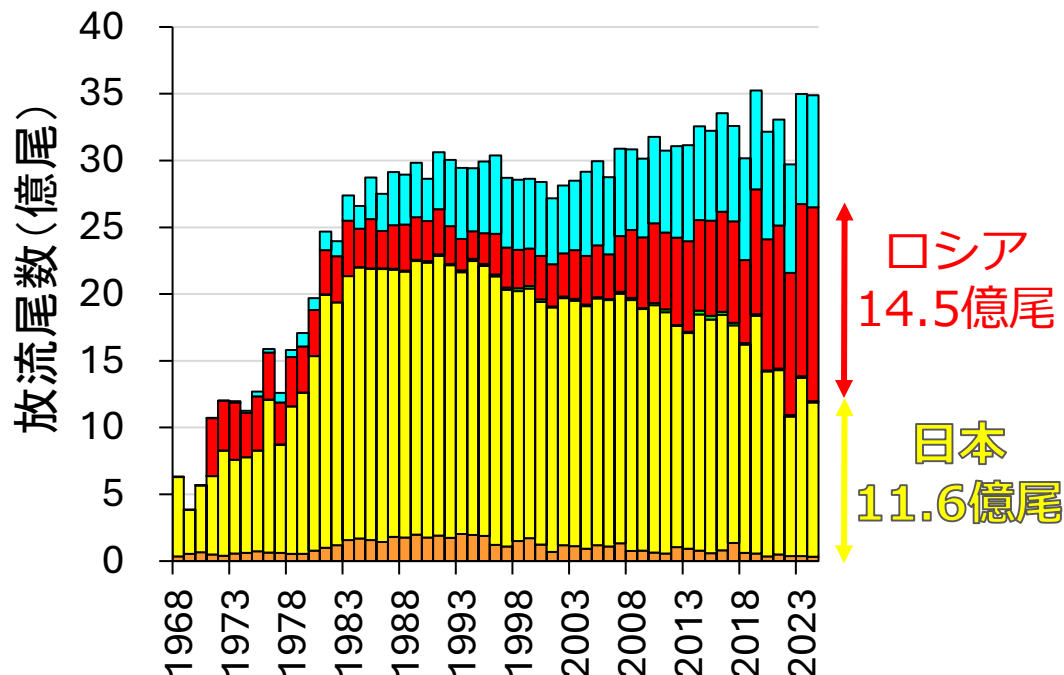


(NPAFC Hatchery Release Statistics)

国別のサケ・カラフトマス放流数の推移 1968年～2024年

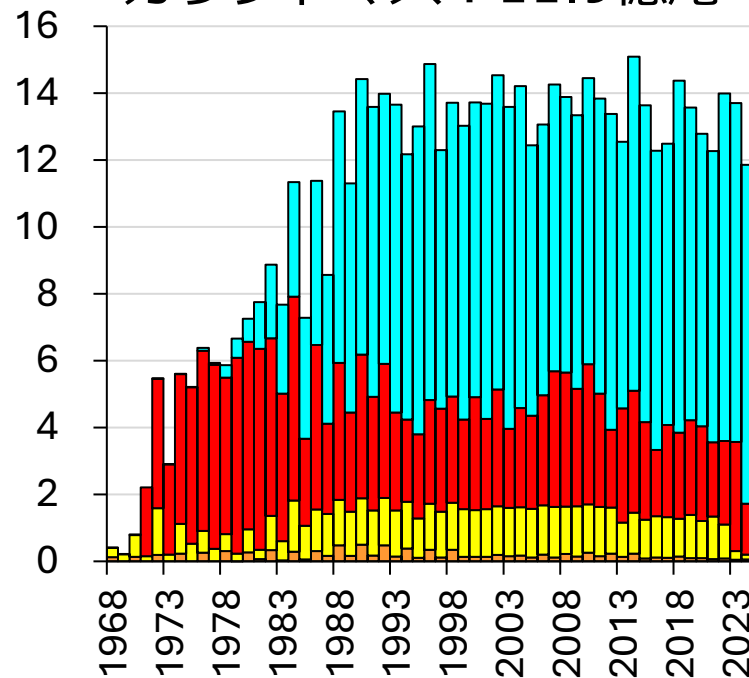
■ カナダ ■ 日本 ■ 韓国 ■ ロシア ■ 米国

サケ：34.9億尾



2024年はロシアの放流数が
日本よりも約3億尾多い

カラフトマス：11.9億尾



2024年は日本とロシアの
放流数が減少